



延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広
電話 49-0004 FAX 49-2761



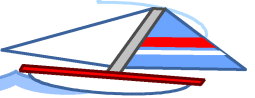
夏休み

いよいよ18日は終業式です。子どもたちが待ち望んでいた夏休みがスタートします。子どもたちが健康で安全に過ごし、元気な顔で9月1日に登校してくることを教職員一同願っています。特に交通事故、誘拐や変質者からの被害、水の事故、携帯電話やパソコンのメール等による事故・事件に巻き込まれること、万引きなどの犯罪に誘い込まれることなどないよう御注意ください。1学期には用水路へ近づかないことを特に繰り返し指導しました。子どもたちも『ダメなものはダメ』ということをしつこく理解してきたと思っています。繰り返し話すことが大変重要ですので、子どもたちの安全に関する内容は毎日声をかけてください。

学校では、子どもたちの安全以外にも規則正しい生活、たくさんの経験、手伝い、読書や学習、注意事項など十分に指導してまいります。御家庭でも十分な話し合いと御指導をお願いいたします。



保護者の関わりで自己肯定感向上



国立青少年機構の体験活動調査では、

- 自然体験や生活体験が豊富なほど自己肯定感は高くなり、体力に自信。道徳観・正義感も向上。
- 保護者の関わりが多い子ほど自然体験や生活体験が豊富になり、基本的な生活習慣も身につく。

ということが報告されていきました。10年ほど前に、新聞記事で、「朝陽を見たことのない子どもが増えている。それは、保護者が連れて行かないからだ。」という記事を読んだことがあります。今回の報告では、その頃と比べ、生活体験も豊富になり、生活習慣も改善傾向にあるという内容もありました。夏休みは、家族と一緒に同じ時間を過ごすことが大切です。関わりを多くもって、自然体験、生活体験をたくさんさせて、国際的に低い日本の子どもたちの自己肯定感を高めてあげてください。



3つの心を家庭でも



保護者の皆様にお願ひがあります。学校では4月から『3つの心』を子どもたちに伝え続け、心を育てることを行ってきました。それを夏休みの期間、御家庭でも継続してください。子どもたちの心を育てるために、学校も家庭も関わるすべての大人が継続的に子どもたちに話していかなければなりません。よろしくお願ひいたします。

- 3つの心
- 一 人を思う「心」
 - ・まわりにいるすべての人を大切にする
 - ・自分を大切にする
 - 二 強い「心」
 - ・やらなければならないことは、やらなければならない
 - ・ダメなものはダメ
 - 三 本気で勉強する「心」
 - ・真剣に話を聞く
 - ・真剣に意見を言う



7月12日(土)



心配していた台風も通り過ぎ、当日は比較的爽やかな天気のもと「生き物調査」を行うことができました。開会行事後、学年ごとに地域の方や保護者の方とそれぞれの場所へ行って生き物とります。あらかじめ水を止めて流れを少なくしてくださったので1年生が入っても安心でした。水路に入っただけで、「あっ、いた！！」「とれた！！」「ドジョウだ！！」など、下学年の児童が大きな声で喜びを表現していました。遠くまでいった上学年も長靴は水没、ズボンも泥に汚れていましたが、生き生きした表情で一生懸命捕まえていました。今年度もメダカ里親の会 事務局長の〇〇〇〇様が来てくださり、捕れた生き物についての説明をしてくださいました。

川

- ・コイ…川の茂みの下にいる。 ・フナ…毎年とれない。栃木県ではコイが多い。
- ・ナマズ…えさはカエルやドジョウ。下あごが出ている魚はどう猛。そっくりなギバチ(ゲンギョ)ひれにとげ。 ・ドジョウ…捕れるのは外国のカラドジョウ。日本のドジョウは髭が短く、尾ひれに黒い点がある。 ・タモロコ…髭があってすじがあり、尾に黒い斑点。 ・アメリカザリガニ…オスはハサミが大きい。 ・タガメ…刺される。絶滅した県も多い。 ・ヒバカリ(ヘビ)…かまれても毒がない。 ・カエル…東京だるまガエル、アマガエル

田んぼ

- ・アジア系トンボ、アキアカネの幼虫 ・はいろいろゲンゴロウ ・ガムシ ・ギンヤンマのヤゴ
- ・糸トンボのヤゴ ・ガガンボの幼虫 ・チリメンカワナ
- ・ヒメタニシ

〇〇先生の話を生懸命きいて、生き物の名前等記録しましたが、間違いがありましたら御容赦ください。〇〇先生は、「田んぼがあるから水の管理がされて、生き物が生きられる。ここにいる地域の方が田んぼを大切にしてくださるからです。そして、このおじちゃんたちは生き物を捕るプロです。小さい頃から延島で生き物を捕ってきたからだね。」と説明の中で話していました。確かに、子どもたちに混じって捕れた生き物を眺めている地域の方の目はきらきら輝いていました。子どもたちには、「……命を想ってください。小さな生き物をとっても必ず水に戻します。小さな生き物はすぐに死んでしまいます。……」と話していました。まさに、この活動で子どもたちに知ってほしいこと、育ててほしい心です。



この「生き物調査」を通して、自然あふれる延島の小さな生き物をたくさん知ってほしい、小さな生き物の命を大切にする心を育ててほしい、と思っています。今はなかなか生き物とふれ合う機会、環境がないのが現状です。夏休みには、親子で生き物に触れる計画を立ててみるのはどうでしょうか。



トシおやま

「ふれあいネット」
7/28~8/3
6:00 12:00
17:00 22:00

地域で計画して、水に入る、田に入る、生き物をとる、触るなどの機会をもってくださいましたことは大変重要なことです。特に延上蕎麦花の郷の役員さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。